



守るための、再起動。④

～この高浜を、次の世代へきちんと渡していくために～



問合せ先 市行財政改革グループ ☎95-9546

行財政改革に関するよくある疑問にお答えします

下記以外にも、市公式ホームページに掲載しています。



市公式ホームページ(よくある疑問と回答) ↑

行財政改革の取組みにより、 市民サービスに影響がありますか？



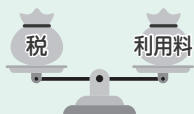
事務事業の効率化や手法の工夫、収入の確保などを積極的に進めたり、受益者負担の適正化を図ったりすることで、なるべく市民サービスの低下や大きな負担増とならないよう検討を進めています。

そのなかで、事業の目的・効果、利用状況などをふまえ、市民サービスに影響がある変更などを行う場合は、あらかじめ周知・説明のうえ、実施します。

受益者負担の適正化とはどういうものですか？

特定の人が利用するサービス(公共施設の利用、証明書の発行など)については、公平性の観点から、かかる費用のすべてを税で賄わず、サービスを受ける人に一部負担していただいています。近年の物価高騰などにより、サービス提供にかかる費用が増えているため、利用料などの見直しが必要となっています。

また、公共施設の市外在住者の利用や営利目的の活動での利用については、施設の管理運営には市税が充てられていることから、市内在住者・非営利目的の活動での利用とは、負担額を区別することを検討しています。



市長や職員の給料を下げたり、 職員数を減らしたりはしないのですか？

市の人口あたりの市の職員数や人件費はすでに県内最低レベルです。今後も、市民の皆さんへ提供するサービスや事業を支える人材を適切に確保するため、職員数の削減を行う予定はありません。

また、給料の削減のような一時的な財源確保ではなく、働き方の見直しや、歳出削減、財源確保策に取り組むことが重要と考えています。

これまで対策は講じてこなかったのですか？

高浜市総合サービス株式会社の設立・活用など積極的なアウトソーシングの推進による職員数の抑制や、市立病院の民間移譲、公共施設の再配置検討についても早期から取り組んできました。

あわせて、毎年の予算編成過程などでも、サービスや事業の見直し、実施方法の工夫などを検討し、改善してきました。

一方で、収入の伸びが追いつかないような物価・人件費の高騰、扶助費の増大など、社会情勢や財政状況の変化が大きく、今一度、集中的にサービスや事業を精査しています。



行財政改革へ市民の声は反映されますか？

「行財政改革プラン」の作成には、さまざまな立場の市民で構成される「高浜市行財政改革市民会議」からの意見を反映します。

また、『広報たかはま』や市公式ホームページなどで、市の財政状況や行財政改革の取組みの考え方を伝えています。方向性がまとまった段階で、市民説明会やパブリックコメントなどを通じて、意見をお聞きしていきます。



第2回 高浜市行財政改革市民会議

と き 9月18日(金) 10時～12時(予定)

ところ 市役所1階 会議棟

内容 行財政改革プラン案について(予定)

※傍聴を希望する方は準備の都合上、なるべく

9月15日(火)までに連絡してください

市公式ホームページ▶
(市民会議開催予定)

